

勉学と競技

私たちが
応援します!

両立に悩んでいるキミ

中央大学初の試み「学生アスリートガイダンス」

ユニホームに伝統の『C』マークを付けて、日本や世界の頂点を目指す中大スポーツ選手の悩み、「勉学と競技生活の両立」に手を差し伸べる中大初めての企画『中央大学学生アスリートガイダンス』が3月31日、多摩キャンパスの9号館クレセント・ホールで開かれた。

目指せ“二人三脚”

多くの学生はスポーツ推薦試験による入学者だ。全48の公認部会は中大体育連盟に所属するため、学内では『体連生』と呼ばれる。この日は男女計約850人が集まった。硬式野球部などは試合のため欠席した。

主催した経済学部事務室は「授業外活動で多忙を極める学生へ、学業をはじめとする支援体制を整えることは、スポーツ推薦入学制度を持つ

本学としての受け入れ責任である」と、選手と大学が“二人三脚”でいることを強調して体連生を勇気づけた。「平素の地道な努力や活動にエールを送るとともに、体連生が卒業に向けた学生生活を送れるよう指導する新たな機会を設けたい」としている。

体連生向けの履修ガイダンスは、これまで各学部で実施してきたが、全学部・全体連生を対象にしたガイダンスは初めて。

アドバイスする教職員も聴講者も緊張していた。トップバッターは剣道部前主将で今春から中大職員となった宮本浩平さん。在学中は全日本学生剣道優勝大会3位3度のほか、チームに大きく貢献した。

演目『OBからのメッセージ』の始まりは「私は中央大学が好きです。全国に中大の名を広めてほしい」と会場に響き渡る大きな声で始まった。剣道の言葉『守破離の道を行く』をテーマに「当たり前のことを当た





宮本 浩平氏

り前にする」「自分で殻を破る」「完全なる自立」と展開した。

競技・種目は違っても、学生が目指すところは同じだ。聴講席でうなづく学生が多かった。

続いて登壇したのは『教職員からのアドバイス』、村井剛・法学部准教授だ。アメリカンフットボール部出身。中大卒業後、中京大学大学院体育学修士。

自らの経験を含めて、学生アスリートとの付き合いは長い。自己紹介では大学院時代、アルバイトをする際、生活に影響を及ぼさない範囲で、しかも時給の良さを求めて午前3～8時までの仕事を選んだという話を披露した。1日24時間の有効利用法、頑張り屋のエピソードの一端である。

「体連生はあいさつがきちんとで

きる、はつらつとしている、我慢強い、そうしたことでナイスガイと思われている。私はそのイメージをさらにアップさせたい」「人間性を高めて、中大を活気づけてほしい」と呼び掛けた。

そのためには「先生への相談や真剣なあいさつが必要なときは、帽子やニット帽を取り、スエットパンツなど寝間着と間違われるような服装は控えるべき」と諭した。学生同士なら、問題ないことであっても、社会人を相手にした場所では失礼になることもある。「講義で悪目立ちせず、良いイメージやはつらつさを印象づけたい」と結んだ。

トップアスリートになれば注目され、人から見られるようになる。競技だけではなく、言動もクローズ



村井 剛氏

アップされる。アスリートは大変だ。

就職活動に関してはキャリアセンターの池田浩二課長の出番。毎年メンバーが代わる大学スポーツで準硬式野球・東都リーグ史上初の9連覇を成し遂げた熱血監督でもある。「グラウンドでは鬼ですが、キャリアセンターでは皆さんを笑顔で迎えます」「面接で受かるアドバイスをします。次に社会で出世するにはどうしたらいいかを話します」突如、身を乗り出す聴講学生が増えた。池田さんは全体を見わたして、こう続けた。

「運動部の学生が、面接で決まって聞かれることがあります。スポーツをやってきて、こだわりは何ですか、と」今度は、聴講席で互いに顔を見合わせるシーンが目立つ。回答が見つからないようだ。

「私は、徳を積む、運をつかむ、と教えています」。徳！？ 徳って…会場が静かになった。即座には理解を得られなかったとみて、池田さんは曇り掛ける。

「ゴミを拾う。電車内でお年寄りに席を譲る。世の中のルールを守る。当たり前のことを当たり前にする」「出世するキーワードがあります。食事中、箸をきれいに正しく持つ。きれい



♪あと一粒の涙で ひと言の勇気で 願いがかなう

その時が来るって 僕は信じているから 君もあきらめないで

——ファンキーモンキーベイビー『あとひとつ』から抜粋

に箸を使い、残さず食べる。こうすると彼女に惚れられ、彼女のご両親にも認められる。これが世の中です」



縦に加え「横関係」も

学生アスリートは、会場で学部ごとに着席した。従来なら競技別の座席となっただろうが、主催側の発案で、学部単位の体連生コミュニケー



池田 浩二氏

ションを図ろうというものだ。これまでの「縦関係」に新たな「横関係」を構築する。

『職員自己紹介』でも、50人超の登壇者が「困ったことがあれば、いつでも事務室に来てください」と異口同音にやさしく語りかけた。一つひとつの言葉に心から応援する気持ちがこめられていた。

このガイダンスの冒頭では酒井正三郎総長・学長、曲田統・学友会総務部長から実父のような滋愛に満ちたあいさつがあった。

「競技と学業の両立」という普遍の大テーマに挑む学生アスリートは決して一人ではない。教職員を含めたオール中央の一員である。ガイダンスを聴いて、集まった約850人の体連生は心丈夫になったという。胸弾ませて退室する背中を選りすぐりの曲が優しく包んだ。



主催側で奮闘した2014年世界レスリング8位の天野雅之氏

♪あと一粒の涙で ひと言の勇気で 願いがかなう その時が来るって 僕は信じているから 君もあきらめないで… FUNKY MONKEY BABYS (ファンキーモンキーベイビー)のヒット曲『あとひとつ』

大願成就まで、あとひとつ、あとひとつと頑張っている中大スポーツ選手へ、総力あげてのエールである。

■中央大学学友会体育連盟部会 合気道部/アメリカンフットボール部/応援部(チアリーディング)/応援部(プラスコー) /応援部(リーダー) /空手部/弓道部/剣道部/拳法部/航空部/硬式庭球部/硬式野球部/ゴルフ部/サッカー部/山岳部/自転車競技部/自動車部/射撃部/柔道部/重量拳部/準硬式野球部/少林寺拳法部/女子卓球部/女子ラクロス部/女子陸上競技部/水泳部/スキー部/スケート部/相撲部/ソフトテニス部/ソフトボール部/ソフトボール部(女子)/卓球部/中大スポーツ新聞部/軟式野球部/馬術部/バスケットボール部/バドミントン部/バレーボール部/バレーボール部(女子)/ハンドボール部/フェンシング部/ボート部/ボクシング部/ホッケー部/洋弓部/ヨット部/ラグビー部/ラクロス部/陸上競技部/レスリング部/ワンダーフォーゲル部





■ 聴講学生のコメント集 ■

競技成績だけではなく、人間として徳を積むことが大切と知った

母校愛をもっと持ちたい

授業を欠席するときは、必ず事前に先生に相談しようと思う

どこまでも謙虚で、素直になることが大切

大学の体連生に対する熱い気持ちが伝わり、頑張ろうと思った

これから、徳を積んで、運をつかみたい

負け試合から学ぶこともあるが、勝つことで学ぶことのほうがたくさんある

誇りを持って行動したい

守破離の道を行く、5つの心、『素直』『反省』『謙虚』『奉仕』『感謝』を忘れない

報告・連絡・相談を必ず行う

部の看板を背負っていることを改めて認識した

元気のいいあいさつを心掛ける

自分に関わってくれるすべての人に感謝したい

『今しかできないこと』を一生懸命に頑張りたい

引退し競技をしなくても人として誰からも尊敬される人になりたい

箸の使い方が重要だと分かった

常に自分のことを支えてくれる人がいることを感じながら生活したい

日々の生活から見直そうと思った

■ 徳

【大辞泉(小学館)】①精神の修養によってその身に得たすぐれた品性。人徳。「徳が高い」「徳を修める」。②めぐみ。恩恵。神仏などの加護。「徳をさずかる」「徳を施す」=中略=④富。財産。⑤生まれつき備わった能力・性質。天性。

徳とする ありがたいものとする。感謝すべきものとする。「師の教えを徳とする」

徳は孤ならず必ず隣あり <<「論語」里仁から>>徳のある者は孤立することがなく、理解し助力する人が必ず現れる。

徳をもって怨みに報いる <<「論語」憲問から>>うらみのある者を憎まず、かえって恩恵を施す。

【新明解国語辞典(三省堂)】①(心がきれいで)努力しないでも、すべての行いが人の模範とするに足ること。「徳が備わる」=中略。②精神的・物質的に人を救済する善行。「徳とする」(=ありがたいと思う)③(高德に裏づけられた)声望。「故人の徳を傷つける。④ある行為に付随する、よい結果。余徳。「朝起きは三文の徳(何かいい事がある)

【新実用漢字表現辞典(朝日出版社)】意味①身についた品性②のり、めぐみ③利益、もうけ。使い方 徳義を守る。徳望が高い。徳用品を買う。徳行を重ねる。悪徳の限りを尽くす。功德を施す。彼は人徳が高い。背徳行為をする。不徳のいたす所です。※小学5年で学習する。

■ 箸の持ち方

「箸の持ち方を注意されます」と答えた子供は24%。提示されたイラスト表示中の正しい持ち方を選択できた子供は57%。いずれも「児童生徒の食生活実態調査」による。日本スポーツ振興センターが全国の小中学生約1万人を対象に実施した。中大生は子供と比べてどうでしたか。

